

「大阪市史」関係の稿本群 一括(217点)

『大阪市史』関係の稿本群

「おおさかしし」かんけいのこうほんぐん

分野／部門

有形文化財／歴史資料

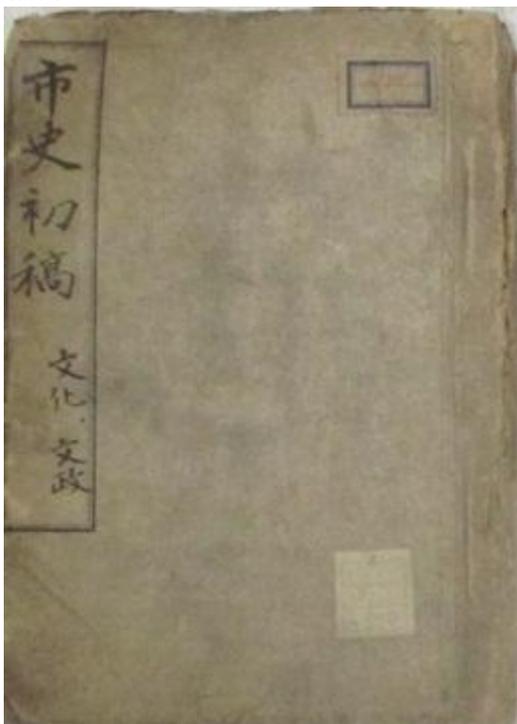
所有者

大阪市(教育委員会事務局)

所在地

大阪市西区北堀江 4(大阪市史編纂所、大阪市立中央図書館)

紹介



大阪市史は 5 回にわたって編纂されているが、このうち最初の『大阪市史』は、日本ではじめての市史として、明治 32 年(1901)に編纂事業が決定された。当時新進気鋭の歴史学者であった幸田成友(こうだしげとも)(1873～1954)が主任となり編纂し、明治 44 年(1911)から大正 4 年(1915)にかけて 8 巻が刊行された。原本となる印刷用の稿本と推敲の過程を示す初校、関連して編纂された史料の稿本は、大阪市の近代史を考えるうえで重要な歴史資料である。